

実行計画に基づく温室効果ガス排出量削減の実施状況

1. 公表対象年度 平成28年度

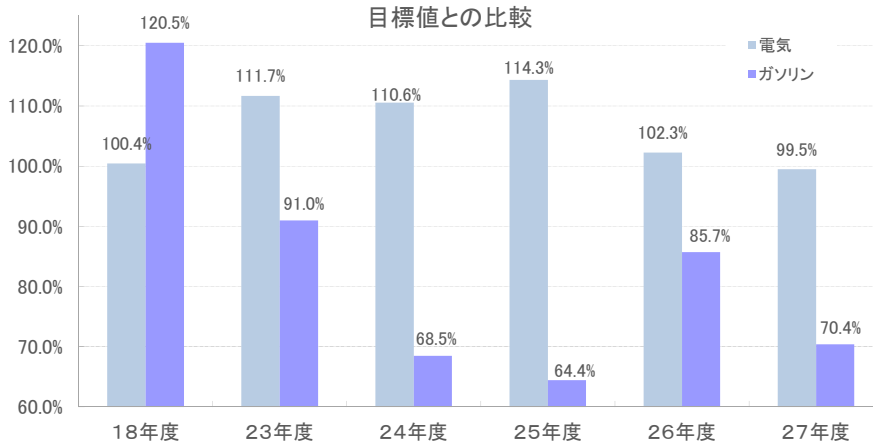
2. 目標年度 平成30年度

3. 温室効果ガス排出量 (Kg-CO₂)

※基準年度=平成18年度

	18年度 (基準年度)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	基準年度比	目標値	目標値比較
ガソリン	6,823.12	5,152.44	3,878.39	3,649.64	4,852.86	3,985.60	↓	5,663.12	0.704 達成
A重油	41,679.80	40,650.00	32,520.00	40,650.00	33,875.00	31,165.00	↓	38,969.80	0.800 達成
電気全体 (排出係数)	602,184.59 (0.481)	669,613.42 (0.518)	662,857.21 (0.516)	685,562.42 (0.531)	613,210.53 (0.497)	596,351.79 (0.497)	↓ 減少	599,547.71	0.995 達成
浄水場	<229,150.8>	<221,913.8>	<218,644.2>	<230,894.7>	<213,216.0>	<210,593.3>	<0.974>		
第1ポンプ場	<266,982.4>	<306,842.5>	<309,936.4>	<330,514.6>	<290,926.4>	<298,524.0>	<1.038>		
第2ポンプ場 その他	<90,188.0> <15,863.4>	<123,045.2> <17,811.9>	<117,276.5> <17,000.1>	<107,523.8> <16,629.3>	<93,397.7> <15,670.4>	<112,958.2> <-25,723.7>	<1.037> <0.973>		
合計	650,687.51	715,415.86	699,255.60	729,862.06	651,938.39	631,502.39	↓ 減少	644,180.63	0.980 達成

※排出量の算出方法は、国策定の温室効果ガス総排出量算定方法ガイドラインによる。



4. 現状と課題

当企業団では、温室効果ガスを排出する要因のうち、電気による排出量が占める割合は極端に大きい。

電気使用量の多い施設であるポンプ場は、使用水量による影響、浄水場は水質の変化、水質検査の頻度による影響が大きい。

電力会社の排出係数の影響も大きいですが、安全な水質確保、水の安定供給を考慮して、可能な限り目標達成に努める。